

令和3年度 病害虫防除技術情報 第3号

令和3年5月17日
大分県農林水産研究指導センター
農業研究部

梅雨入り前進化に伴う病害対策について

九州北部地方では統計史上2番目に早い5月15日に梅雨入りしました。平年に比べ20日も早く梅雨入りしたことにより、今後の降雨と日照不足等に対してより一層の注意が必要となります。今後の病害の発生に注意し、速やかな防除に努めましょう。

1. 防除の考え方

- 1) 水稻における苗箱施薬等の基幹防除剤は、確実に散布する。
- 2) 今後は晴天日が限られる可能性があるため、このような日を逃さず、適期防除を心がける。
- 3) 露地作物等では、降雨により既に感染が成立している可能性が懸念される。このような場合は、まず治療効果の高い薬剤を散布した後、保護殺菌剤を中心としたローテーション散布へと移行するのが効果的である。

2. 防除上注意すべき事項

- 1) 薬剤散布の際は展着剤を加用し、株元にもしっかりと散布する。
- 2) 多湿条件や多肥、肥料不足は発生を助長するので排水対策を施すとともに、適正な肥培管理に努める。
- 3) 使用薬剤は大分県農林水産研究指導センター農業研究部病害虫対策チームホームページ内にある「大分県主要農作物病害虫及び雑草防除指導指針」を参照し、農薬使用基準（使用時期、使用回数等）を遵守する。中でも同一成分を含む薬剤を連用しないようローテーション散布を心掛ける。

(ホームページアドレス <http://www.jppn.ne.jp/oita>)



表 注意が必要と考えられる病害と防除対策

作物名		病害虫名	病原体	主要な防除手段
普通作	水稲	いもち病	糸状菌	薬剤防除（苗箱施薬、散布剤）
	麦類	赤かび病	〃	成熟を迎えたものは速やかに収穫
野菜	ネギ	べと病	〃	薬剤防除
	トマト	葉かび病	〃	薬剤防除、被害葉の摘葉
		茎えそ細菌病	細菌	薬剤防除、器具消毒（接触伝染防止）、マルチ上の水たまりの排水
	ミニトマト	斑点病	糸状菌	薬剤防除
	ピーマン	斑点病	〃	〃
	イチゴ （親株床、子苗）	炭疽病	〃	薬剤防除、天井被覆、底面灌水、器具消毒（ポット等）
果樹	梨	黒星病	〃	薬剤防除、被害葉の摘葉、被害果の除去
		黒斑病	〃	薬剤防除、被害葉の摘葉、被害果の除去、早期の小袋かけ
	柑橘類	かいよう病	細菌	薬剤防除
		黒点病	糸状菌	〃
		そうか病	〃	〃
	ブドウ	べと病	〃	薬剤防除、天井被覆
		晩腐病	〃	薬剤防除、天井被覆、袋かけ
	キウイフルーツ	花腐細菌病	細菌	薬剤防除、新梢管理
	モモ、スモモ	黒星病	〃	薬剤防除
	ウメ	黒星病	〃	〃
茶	炭疽病	〃	〃	
花き	施設ギク	白さび病	〃	薬剤防除、換気、被害葉の除去
	露地ギク	白さび病	〃	薬剤防除、被害葉の除去
		べと病	〃	〃
	露地ホオズキ	斑点細菌病	細菌	予防散布、雨よけ、被害葉の除去
園芸共通 （トマト、ミニトマト、ピーマン、 ブドウ、トルコギキョウ等）		灰色かび病	糸状菌	薬剤防除、換気、枯死株（トルコギキョウ等）、被害葉、被害枝、被害花及び被害果の除去